

NEC IP8800/A260
ハードウェア取扱説明書

訂正資料

IP88A26-H001-60 以降対応版

■はじめに

このマニュアルは、以下に示す IP8800/A260 ハードウェア取扱説明書の訂正内容について説明するものです。

本装置をご使用になる時は、この資料を必ずお読みください。

このマニュアルの対象となるマニュアル一覧を以下に示します。

マニュアル名	マニュアル番号	発行
NEC IP8800/A260 ハードウェア取扱説明書	IP88A26-H001-60	2020 年 11 月

■対象製品

本マニュアルは IP8800/A260 シリーズの IP8800/A260-08TF, IP8800/A260-08T の 2 モデルの内容について記載しています。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

- ・ Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ GSRP は、アラクサラネットワークス株式会社の登録商標です。
- ・ イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

本マニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

本マニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■お知らせ

本マニュアルに準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。

あらかじめご了承ください。

■発行

2021 年 10 月 (第1版)

■著作権

Copyright(C) NEC Corporation 2021. All rights reserved.

目次

安全にお取り扱いいただくために	4
通知.....	5
2 機器の準備.....	6
2.2 設置条件.....	7
4 機器の設置, 増設, 交換および撤去.....	8
4.6 SFP の取り付けと取り外し.....	9
4.6.1 SFP-T の取り付けと取り外し.....	9
4.6.2 SFP (SFP-T を除く) の取り付けと取り外し.....	9

安全にお取り扱いいただくために

通知

追加

トランシーバに関する通知

- SFP のレバーを無理に引っ張らないようにしてください。
 - SFP の取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。

- トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。
 - トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。トランシーバの取り付けおよび取り外しを過度に行うと、耐用年数が短くなる場合があります。

2 機器の準備

2.2 設置条件

変更

表 2-1 IP8800/A260 シリーズ装置本体の一般設備条件

表 2-1 IP8800/A260 シリーズ装置本体の一般設備条件

項目		モデル名称	
		IP8800/A260-08TF	IP8800/A260-08T
寸法 (W×D×H) *1		210×339×43mm	
質量 *2		2.4kg	2.0kg
入力電圧	定格	単相 AC100～120V, 200～240V±10%*3	
	変動範囲	AC90～127.2V, 180～254.4V AC90～132V, 180～264V	
周波数		50/60±3Hz	
最大入力電流		0.6A@AC100V	0.3A@AC100V
		0.3A@AC200V	0.2A@AC200V
最大消費電力		60W	30W
最大発熱量		216kJ/h	108kJ/h

*1 コネクタ類の寸法は含みません。

*2 本体のみの質量です。ケーブル類, メモリカード, トランシーバの質量は含みません。

*3 本装置付属の電源ケーブルは, AC100V だけ対応しています。

4 機器の設置，増設，交換および撤去

4.6 SFP の取り付けと取り外し

追加

トランシーバの取り付け・取り外しに関する通知

SFP の取り外しがしにくい場合の通知

SFP は、装置の電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うことができます。

通知

トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。トランシーバの取り付けおよび取り外しを過度に行うと、耐用年数が短くなる場合があります。

4.6.1 SFP-T の取り付けと取り外し

(2) 取り外し方

⚠注意

SFP-T 動作中（リンク確立中）の温度は、最高 65°C になります。動作中および動作停止直後は手を触れないでください。やけどの原因となります。

なお、SFP-T を取り外す場合は以下の手順に従ってください。以下の手順に従わないと、やけどの原因となります。

- 装置の電源を入れたままで取り外す場合は、SFP スロットを shutdown コマンドにて閉塞した後、トランシーバの表面温度が十分に冷めたことを確認してから取り外してください。
- 装置の電源を切断して取り外す場合は、電源を切断した後、トランシーバの表面温度が十分に冷めたことを確認してから取り外してください。

通知

SFP の取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。

4.6.2 SFP（SFP-T を除く）の取り付けと取り外し

(2) 取り外し方

通知

SFP の取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。